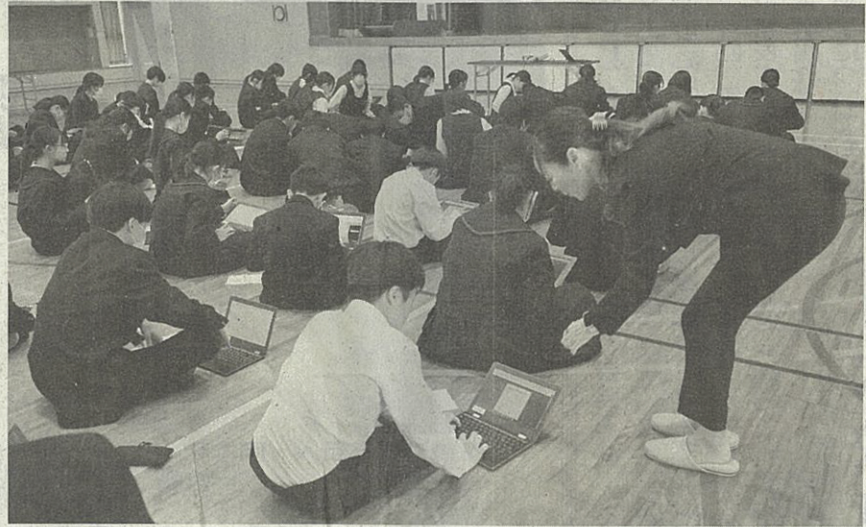




ネット・SNS 正しい知識を



児童生徒600人に講話 枕崎8小中学校

枕崎市の全小中学校8校で2月19〜27日、インターネットや交流サイト（SNS）の正しい知識と対応力を育む「デジタル・シチズンシップ教育」の講話があった。小学5年生以上の延べ約600人が、デジタル社会の一員として責任を持つて行動するスキルを学んだ。

教育サービス企業ウィザース（大阪市）の生駒富男社

長（64）＝枕崎市出身＝が教材を提供。同社のインスタグラムが各校を訪ねた。

立神中学校では1、2年生78人にフェイク情報を見破る方法やネットいじめ対策などを講話。「送信する前、転送する前、コメントする前に落ち着いて考えよう」「いじめは傍観者が行動することで変わる」などと強調した。

同校2年池田悠乃さんは

デジタル社会に生きるスキルを学ぶ生徒たち

＝枕崎市の立神中学校

「ネットいじめが世界でも問題になっていて、対策を取っている現状が分かった。友達とよくLINEをするが、これから言葉の選び方などに気を付けた」と話した。

（下栗淳也）